

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212V203	地域看護活動展開論 (Community Health Nursing Practice III)	専門教育科目 地域看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	2	前	水・4 木・3	後藤奈穂・金崎理子・箕河原靖子 内線:5092/5095 E-mail: goto-naho@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

制度の仕組み・根拠法規との関連において、また、地域特性・活動場所の特性との関連において、地域看護活動の方法を理解するとともに、疫学データや保健統計等との整合性を検討して健康課題の解決に向けた事業や地域資源の活用・開発、施策化の基本的な考え方を学ぶ。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 制度や根拠法規との関連で地域看護活動について説明する	○						
2. 地域特性・活動場所との関連において地域看護活動について説明する	○						
2. 疫学データや保健統計等との整合性を加味して健康課題解決にむけた方策について説明できる	○						
3. 地域看護活動としての事業や地域資源の活用・開発、施策化について説明できる					○		

【授業の内容】

1	地区を単位とした活動の展開過程・保健福祉事業を駆使した地区活動の展開
2～4	発達段階の特性に応じた活動方法(母子・成人・高齢者保健福祉活動)
5～8	健康課題の特性に応じた活動方法(感染症・障害児者・難病・精神保健福祉活動)
9	在宅療養者への地域支援体制の構築
10	地域の特性に応じた活動方法(へき地・都市部)
11	地域を基盤として展開する看護と保健師の役割

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A: 知識の定着・確認	○	授業終了時のカード記入	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を使って事前に各自が学習内容の概要を確認し疑問点を整理しておく、疑問を出し合い討議する。 動画や事例を用い、イメージを拓げる。
B: 意見の表現・交換	○	グループ検討	
C: 応用志向	○	グループ間討議・発表	
D: 知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	教科書等を用い次回の学習内容について予習し、概要と疑問点を予習シートに整理し講義に臨む (11h)
事後学修	配布資料・教科書を用い授業で学習した内容を復習する (8h)

【教科書】

宮崎美砂子他編：最新公衆衛生看護学 第3版 総論 2023年版. 日本看護協会出版会, 2023
 宮崎美砂子他編：最新公衆衛生看護学 第3版 各論1 2024年版. 日本看護協会出版会, 2024
 宮崎美砂子他編：最新公衆衛生看護学 第3版 各論2 2024年版. 日本看護協会出版会, 2024
 厚生労働統計協会, 国民衛生の動向, 2022/2023

【参考書】

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4
課題レポート	20%	○	○	○	○
期末試験	80%	○	○	○	○

【注意事項】

【備考】

担当教員の実務経験の有無	<input type="radio"/>	
教員の実務経験	保健師（都道府県・保健所・市町村・病院）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	<input type="radio"/>	
教員以外の指導に関わる実務経験者	保健師（産業）・養護教諭	
実務経験をいかした教育内容	様々な地域看護活動の実務経験を交えて活動価値異論を理解しやすく講義する。	